

報告者名

宮崎県中小企業団体中央会

報告年月

令和6年9月

## 情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	木材・木製品	製材業	製材業は需要低迷により、厳しい状況が続いている。物価高のなか、社員への待遇改善を急ぎたいと考えているが、国内需要にあまり期待できそうにない。製品の輸出を検討する必要がある。業界全体でアイデアを練り力を合わせ、新しいことにチャレンジできる環境づくりが大事だと考える。
	木材・木製品	製材業(プレカット)	9月の生産坪数は先月と同じ程度であったが、前年比では68%と相変わらずの低水準、例年であれば9月から繁忙期に入る業界であるが、そのような忙しい雰囲気は今のところまったくない。 10月こそいくらか忙しくなるのではないかと期待したいところではあるが、頼みの非住宅の計画も昨年度と比較すると少ない傾向であり、あまり期待できない状況である。10月・11月の受注が少ないとなれば、おそらく年間通してずっと低水準での推移となり、業界として歴史的な冷え込みとなってくるかもしれない。
	木材・木製品	木製品製造業	10月からの最低賃金の上昇や社会保険の変更など、人件費の増加が厳しい状態にある。
	印刷	印刷・同関連業	最低賃金の上昇について、現社員とのバランス、パート従業員の稼働時間などを考えると対応が難しく、逆にコストが上昇することになる。また、人材確保も難しくなる。
	印刷	印刷・同関連業	8月に立て続けに襲ってきた地震、台風(竜巻)で被災した事業所もいくつかあり、未だに回復してないところもある。 県内の業界内の景況については全般的に厳しく、見通しもあまり明るくはないようだ。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	9月出荷数量昨年同月比128%、今年度累計出荷量では昨年対比102%となった。出荷減への対応のため、組合員2社の集約化を進めている。2工場を1工場に集約化、設備過多を合理化し、人手不足への対応にもなる見込みである。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	繰越し物件の出荷が間もなく終わろうとしているが、官民とも新規の物件がない。来月から非常に不安である。今後の官公需の発注状況を注視していきたい。昨年対比の出荷量は82.6%であった。
非製造業	小売業	機械器具小売業	前月同様に、車業界はタマ不足といわれる車不足で、オークションの価格は高騰、組合員においては仕入れが高騰しているため、なかなか仕入れを行うことが困難との意見を耳にする。新車販売は以前よりスムーズに行われているため、年末にかけて中古車においても流通の流れもスムーズになることが予想できたが、水害により車の需要が高まっており、これもまた仕入価格高騰に拍車をかけている。先日の宮崎で起こった竜巻や台風被害により、車の修理や買い替えにおいては殺到しているようで、売上事態は増加しているようだ。
	小売業	LPGガス小売販売業	9月合成CP価格(サウジ通告価格)は597.5 <sup>ドル/トン</sup> (前月比+12.5 <sup>ドル/トン</sup> )。8月MB価格(米国产平均価格)+(物流経費87 <sup>ドル/トン</sup> )は477 <sup>ドル/トン</sup> (前月比△26 <sup>ドル/トン</sup> )。対顧客電信売相場(8月平均)は147.44 <sup>円/ドル</sup> (前月比△11.72 <sup>円/ドル</sup> )。合成CP価格は微増、MB価格は微減、急激かつ大幅に円高が進んだことにより実仕入価格は減となったが、前年比ではまだ高い水準で推移している。
	商店街	宮崎市	周辺地域に空き店舗が増えている。新規入居店舗は飲食店が殆どである。
	商店街	都城市	大型の台風が接近・上陸したが、警戒した程ではなく大きな被害はなかった。逆に宮崎市内では竜巻で大きな被害が出ていたことに、驚きと自然災害において無力さを感じた。天候が日々変わる月で、気温も暑かったり秋らしい天候だったりと体調を崩しやすい感じであった。イベントなども多数行われ多くの人に来ていたが、その場だけで人が巡回するようなイベントを希望したいと思う。
	サービス業	観光業	来月からの繁忙期に備えてミーティングを行い、注意事項や意見交換等の有意義な話し合いを行うことができた。自然災害(東北の豪雨や宮崎の竜巻・突風)のための旅行キャンセルも数件あった。被害にあった方々の少しでも早い復興を願わずにいられない。
	サービス業	自動車整備業	車検入庫台数は前年比微減。半期の車検入庫台数は前年比並み。10月から値上げするがその影響がどうか注視したい。
	サービス業	自動車車体整備業	塗料などの値上げが続いている。

報告者名

宮崎県中小企業団体中央会

報告年月

令和6年9月

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
サービス業	自動車運転代行業	先月の竜巻被害の影響や大型イベント閑散期の入り始めにもあたり、歓楽街への人出は減少傾向であった。三連休が2週にわたり続けざまにあったのも影響しているかもしれない。
建設業	管工事業	今期の公共工事（管工事）の受注状況は順調である。また、8月8日の地震発生以降の漏水件数増に伴う漏水工事の受注が増加している。
建設業	管工事業	最低賃金の値上げにより、下請け単価が上昇、売り上げを圧迫している。
運輸業	軽貨物運送業	9月度は、前年対比で変化が見受けられない状態であり、新規案件も無く停滞した状態で推移している。燃料は依然として高止まりのまま推移しており、組合員の経営を圧迫している。組合員の高齢化も深刻で、廃業する組合員が徐々に増え始めてきており、新規開業者募集をしながらの組合運営であり、人手不足が深刻である。他の同業者も同様であり、後継者もなく自然消滅するような環境の中での経営となっている。
運輸業	貨物運送業	原油価格は、引き続き世界経済の減速と世界最大の原油輸入国である中国の軟調な経済指標に対する懸念が下落要因となる一方、中東の地政学リスクや、OPECプラスがサウジアラビアを含む8か国が取り組む自主的な生産量減産の2カ月延長を発表したことによる上昇要因とが相殺し合い小幅に上昇する見込みで、国内燃料価格もやや値上げとなる方向である。